

＜空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！＞

2020.10.14

# JAL闘争を支える京都の会News No. 68

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : [komai123@kfa.biglobe.ne.jp](mailto:komai123@kfa.biglobe.ne.jp)

## 京セラ美術館での残業代不払いで 京都市長謝罪

### サービス残業はまさに「稻盛美術館」！

### 10.11 京都市京セラ美術館前JAL争議宣伝

10月11日、台風一過の絶好の秋晴れに恵まれ、近くの平安神宮前ではお祭りの準備も始まり、たくさんの市民でにぎわう京都市左京区岡崎の京都市京セラ美術館前で、3回目のJAL 165名の不当解雇撤回をめざす抗議宣伝行動が開始された。

JAL闘争を支える京都の会の呼びかけに応えたユニオンネットワークに結集する労働組合や京丹後の米軍Xバンドレーダー基地撤去をめざす運動や沖縄反基地闘争を闘う運動、憲法9条改悪反対を闘い、老朽原発再稼働阻止を闘う市民運動団体などから今回もたくさんの方々の参加をいただいた。

直接京セラや稻盛和夫JAL＆京セラ名誉顧問が行ったことではないが、この宣伝行動直前のニュースで、この京都市京セラ美術館のリニューアルオープンに当たって、この1月までの半年間に労働者16人がいわゆる「サービス残業」を行って、



京都市人事委員会から是正勧告を受けていたことが判明した。美術館職員が今年1月に、道路交通法違反で逮捕されたことをきっかけに、出勤記録とパソコンの記録を照合して確認したところ分かったという。

「美術館は京都市が命名権を売却して、ことし春にリニューアルオープンを控えていた時期にあたり、職員の業務負担が増え、中には

時間外の労働時間が月 100 時間を超えたケースもあったという」（N H K ニュース WEB 10 月 7 日）。聞き取りに対し、労働者は「終わらない業務の遂行を優先してしまった」とか、「短時間は申告しなくてもいいと思った」などと説明しているらしく、京都市人事委員会は 9 月 8 日付で京都市に是正勧告を出したという。



マイクを取った連帯ユニオン関西地区生コン支部の仲間は、「10 月 8 日の権力弾圧事件での 10.8 不当判決に怒り、闘っている。きのうも京都市・門川大作市長がこの残業代不払いで謝罪をテレビでしていたが、労働者を虫けらのように扱い業務優先で扱うこの国の、自治体の行政のありかた、社会全体のありかたを団結して変えていこう」と、力強い連帯挨拶を行った。

昔、京セラ本社が京都市山科区の新幹線沿いにあり、東京での出張や集会帰りで遅くなった市民や労働組合の活動家からも、深夜まで煌々と点灯されている京セラ本社ビルがいつも話題になっていた。まだサービス残業という言葉もなかった時代から「あんだけタダ働きさせとったら、稻盛さんとこは儲かつて当たり前や」というのが、京都の老舗の会社社長からいつも言われていたことだ。サービス残業で勧告のニュースは、まさに「稻盛美術館」ならぬ京セラ美術館スタートの時期に、ちなんだ話題ともいえることだった。



165 名のベテラン C A とパイロットの不当解雇撤回闘争は、サービス残業やリストラ合理化・賃下げなど、コロナ禍で犠牲となっている労働者の人間らしい労働を勝ち取る闘いだといえよう。

